

18－(2) 音風景100選

全国各地で、人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境（音風景）について、音環境を保全する上で、特に意義があると認められるものを、「残したい“日本の音風景100選”」として、環境省が認定したものです。

主なねらいは、「日常生活の中で耳をすませば聞こえてくるような様々な音についての再発見を促すこと」、「良好な音環境を保全するために地域に根ざした取組みを支援すること」とされ、本県からは、「出水のツル」（出水市）と「千頭川の溪流とトロッコ」（屋久島町）が選定されています。

音風景の名称・所在地	分類	概 要
出水のツル （出水市）	鳥	冬鳥として渡来するナベヅル、マナヅルの我が国最大の越冬地。地域の人々の永年の愛護活動により、約1万羽が飛来し、多数のツルの鳴き交わす様は壮観である。
千頭川の溪流とトロッコ （屋久島町）	複合	屋久杉の山を流れる千頭川に沿って、溪流の音の中を森林軌道のトロッコが走る。世界遺産の島・屋久島の自然にふれる“動く環境教室”として活用しようという計画がある。

18－(3) かおり風景100選

平成13年、環境省は、豊かなかおりとその源となる自然や文化・生活を一体として将来に残し、伝えていくため、かおり風景を広く募集し、そのなかから、特に優れた100地点を「かおり風景100選」として選定しました。

100選には、花や樹木、潮風、温泉、みかん・カボス・りんご等の果物などの自然の香りのほか、にかわ、墨、線香、茶、塩わかめづくりなどの伝統工芸や地方の特産などに関わるものなど様々なかおり風景が選定されており、本県からは、「指宿知林ヶ島の潮騒」（指宿市）と「屋久島の照葉樹林と鯖節」（屋久島町）が選ばれています。

かおり風景の名称・所在地	源	季 節	概 要
指宿知林ヶ島の潮騒 （指宿市）	潮 草木 樹木	一年中	鹿児島湾（錦江湾）の入り口に浮かび、干潮時には砂の道（砂州）で薩摩半島と陸続きになる無人島です。砂州を渡って多くの観光客や家族連れが訪れ、潮のかおりを満喫しています。
屋久島の照葉樹林と鯖節 （屋久島町）	森林 潮 鯖節	一年中	世界自然遺産に連なる大規模な照葉樹林が集落に肉薄しており、「もののけ姫」の舞台となった白谷の森から吹きおろす風によって花のかおりが漂います。また、地元特産の鯖節のかおりも漂います。